

法吉小学校

昭和四十六年三月十四日、三十年ぶりと

の閉校式

いわれた豪雪の跡もようやく薄らいだこの日午後二時から、斎藤市長、岡教育長御臨席のもとに、全校二百二十五名の児童、旧職員、卒業生など法吉小学校ゆかりの方々とともに一堂に集い厳粛裡に閉校の式典が挙行された。

主催者の岸本正敏氏は、黒田小学校として創設されてより九十有余年の歴史を誇る法吉小学校の今日の発展をたたえながら感懷を述べられた。また卒業生代表、在校生児童代表も、先輩から引き継ぎ築いてきた足どりを懐しく思い起こしながら感謝のことばを述べ、法吉校舎との別れを惜しんだ。時折り降る氷雨が別れ惜しむ気持ちをいつそう深くしたといえよう。

この閉校式に併せて開いた作品展には、全児童の作品を校舎全部をつかつて展示し、閉校にふさわしく意義深いものであった。

また、閉校式後講堂で開かれた別れの宴（会費三百円）も回顧談でにぎわい、万才閉会して、校舎を出られる人皆一様に、閉じゆく校舎を仰ぎ、ふり返り、またふり返り、薄暮の家路についたものであった。